

トップコミットメント	ESGの考え方	活動報告の開示にあたって	価値づくりのあゆみ
環境 Environment	社会 Society	ガバナンス Governance	特集レポート
SDGsの関わり		独立した第三者保証報告書	第三者コメント
ESG情報一覧表			



日本の近代化をリードした迎賓の地、 日比谷の息づかいを継承する新たな都市機能



国賓をもてなす「鹿鳴館」や東洋随一といわれた「帝国ホテル」など、日比谷は明治時代から社交とくつろぎの場として発展し、日本の近代化に大きな役割を果たしてきました。2018年3月29日にオープンした「東京ミッドタウン日比谷」は、現在に息づく歴史と伝統を継承し、“未来志向の新たな体験や価値の創造”を目指しています。

商業施設やオフィスなどで構成された大規模複合施設として、人々が集う広場やイベント空間など多彩な機能を持つ「東京ミッドタウン日比谷」。三井不動産グループが進める“経年優化”の街づくりを実現するために世界トップクラスの制震効率を誇る新世代の制震装置「HiDAX-R」を導入し、国内最高水準の安全性や事業継続性を確保しています。さらに、災害時には約3,000人の帰宅困難者を受け入れ可能にするなど、地域の防災に貢献する機能を備えています。



進化した大人の社交場が、
多様な人材が集まり、新たな産業を生む場に

国内外の名士が交流する場所として歴史を重ねてきた日比谷。そのポテンシャルを新たな産業の創出に活かすため、世界中の多様な文化・感性・才能を持った人材が集結・交流するための社交場へと進化させました。

昭和に開かれた映画、演劇の聖地に
新たな芸術文化の発信拠点

日比谷は昭和以降、「日比谷公会堂」や「東京宝塚劇場」など劇場・映画館が建ち並びエンターテインメントの中心地として名を馳せるようになりました。その伝統を受け継ぎ、地域と

連携しながら「芸術文化・エンターテインメントの街」日比谷の情報を発信していきます。



▶ 日比谷ステップ広場

階段のある直径約30mの円形広場。さまざまなイベントやアクティビティを行うためのスペース。



▶ BASE Q

HALL、KITCHEN、STUDIO、LOUNGE、CAFÉで構成されたビジネス連携拠点として活用するための施設。



▶ TOHOシネマス日比谷

13スクリーン約2,800席という都心最大級のシネマコンプレックス。



▶ アトリウム

劇場空間を模した3層吹き抜けのアトリウム。エンターテインメントの聖地にふさわしいエントランス。

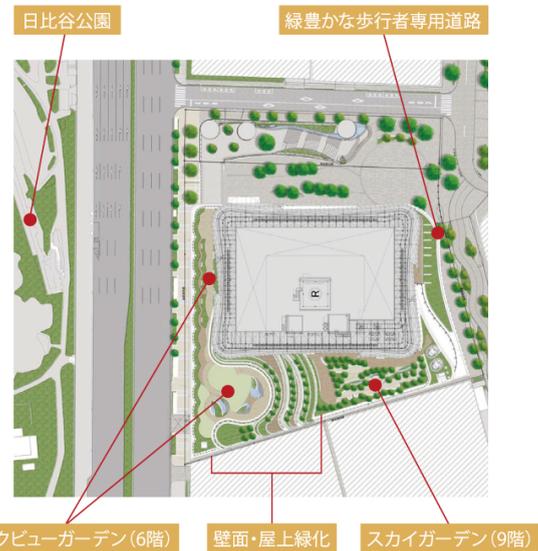
緑やオープンスペースと街が連続する、心を豊かにする街



日比谷は、商業・ビジネス、文化の街というだけでなく、都心部の貴重な環境資源となっている日比谷公園に隣接し、豊かな緑と潤いを感じることができる街です。

「東京ミッドタウン日比谷」は、隣接する日比谷公園の緑とのつながりに配慮し、植栽には、在来種をベースに公園と同種の樹木を積極的に取り入れ、公園の緑との一体化を図っています。外構部だけでなく、「パークビューガーデン」(6階)や「スカイガーデン」(9階)などの屋上緑化や壁面緑化により約2,000㎡の緑地を創出。また、併せて整備した周辺道路の一部を歩行者専用道路とし、積極的な緑化とベンチなどを各所に配することで、緑豊かな潤いある空間を創出しています。

日比谷公園の緑とのつながり、在来種をベースとした植栽などを配置した新たな緑地の創出により、日比谷エリアの緑のネットワーク化や鳥類などの生息空間のネットワーク化にも寄与しています。



▶ パークビューガーデン

眼下に広がる日比谷公園の雄大な緑との一体感が感じられる豊かな植栽と水景のあるテラス。



▶ 壁面・屋上緑化

「パークビューガーデン」(6階)から「スカイガーデン」(9階)へと続く壁面・屋上緑化。



▶ スカイガーデン

オフィスの9階スカイロビーに併設の緑に囲まれた空中庭園。



▶ 緑豊かな歩行者専用道路

千代田区道136号を緑豊かな歩行者専用道路に。日比谷公園と同種の樹木を取り入れるなど、公園から続くような緑豊かな歩行空間に。

Voice



新しい何かに出会えるワクワクする街、日比谷をめざしていく

日比谷は色々な魅力が詰まった街です。劇場、映画館、公園からガード下の飲み屋街までたくさんの顔を持ち、コンパクトにまとまっています。ここに「東京ミッドタウン日比谷」が加わることで新しい賑わいと文化の醸成が進むことに期待しています。施設がオープンしてから本格的な街づくりのスタートです。地域と連携しながら人々が回遊する流れをつくり出したい。日比谷に来ればつねに新しい何かに出会える、そんなワクワクする街にしていきたいですね。

三井不動産 日比谷街づくり推進部(現 柏の葉街づくり推進部) 太田 幸一

トップコミットメント	ESGの考え方	活動報告の開示にあたって	価値づくりのあゆみ
環境 Environment	社会 Society	ガバナンス Governance	特集レポート
	SDGsの関わり	独立した第三者保証報告書	第三者コメント
			ESG情報一覧表



「公・民・学」連携で構築された
持続可能な「世界の未来像」につながる街

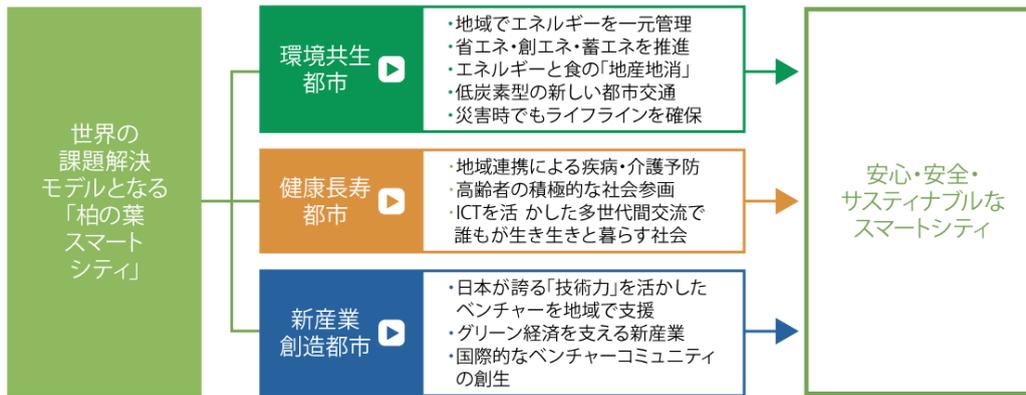
<p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	<p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	<p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<p>12 つくる責任つかう責任</p>
-----------------------	-----------------------------	-------------------------	----------------------



三井不動産グループは、環境問題、超高齢化社会、経済停滞などの社会的課題を解決する先進的なモデル都市を「スマートシティ」と位置付け、公・民・学の連携による次世代都市の街づくりを進めてきました。

「柏の葉スマートシティ」は、つくばエクスプレス柏の葉キャンパス駅（千葉県柏市）周辺で2011年から本格的に始動したプロジェクトです。「環境共生都市」、「健康長寿都市」、「新産業創造都市」という3つの社会的課題を解決するためのモデルを提示して、大学や企業・市民など誰もが街づくりに参加できるフラットなプラットフォームを構築。ハード、ソフトの両面から持続可能な「世界の未来像」につながる自律型の街づくりをめざしています。





子どもは未来をつくる力。
共働きが進む社会で、安心して子育てできる街



2018年2月から入居を開始した「パークシティ柏の葉キャンパス ザ・ゲートタワー ウエスト」は、“子育て世代応援型”の大規模賃貸マンションです。仕事と家庭を両立したい子育て世帯が直面する待機児童問題や共働き世帯の子育て環境整備といった社会的な課題に対する解決策の1つとなるマンションをめざしました。建物内・敷地内には保育園や学童保育施設のほか、小児科クリニックや病児・病後児童保育施設等が入居し、共働きでも安心して子どもを育てられる環境を整備しています。

共働き世帯をサポートする「チコル☆保育園」と「チコル☆アフタースクール」

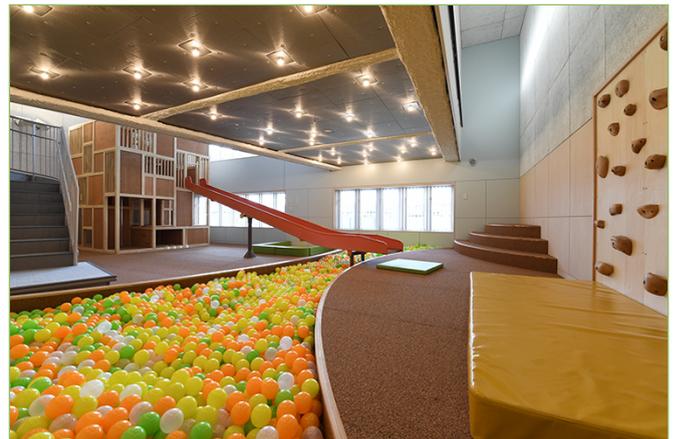
「チコル☆保育園」は、通常の営業時間に加えて、一時保育や22時までの夜間保育に対応する認可外保育園です。「チコル☆アフタースクール」は、小学生を対象とした学童保育施設で、国際社会で活躍できる人材育成をめざします。

子どもを見守りながら仕事ができる「チコル☆パーク」と「チコル☆ワーク」

子どもを見守りながら仕事ができる屋内プレイランドです。「チコル☆パーク」には子どもが楽しめるさまざまな遊具が設置され、保護者が安心して仕事ができるスペース「チコル☆ワーク」が設けられています。



▶ 「チコル☆保育園」



▶ 「チコル☆パーク」

年中無休、夜間・休日も安心の小児科クリニック

365日年中無休で夜間・休日診療にも対応する小児科医院「キャプスクリニック柏の葉」。隣には病児・病後児保育施設「オハナ☆キッズケア」が併設されています。



▶ 「キャップスクリニック柏の葉」

「キャップスクリニック柏の葉」は、米NPO法人セサミワークショップの小児科・小児歯科向け教育プログラム「セサミストリートクリニックメンバープログラム」に加盟しています。

Voice



充実の共用部を備えた課題解決型賃貸マンションを提供します

住民専用の保育園や365日営業の小児科などの子育て支援施設の充実のみならず、無料で利用できる天然温泉やフィットネスジム、Wi-Fi完備のスタディールームなど充実した共用施設を用意いたしました。さらに免震構造や万全のセキュリティ、非常時の電力融通など安全・安心面もカバーしたタワー賃貸マンションとなっております。ぜひ一度柏の葉に訪れ、街の雰囲気とともに当マンションの魅力に触れていただきたいと思います。

三井不動産 柏の葉街づくり推進部 佐藤 正宏

◀◀ &Culture 「東京ミッドタウン日比谷」

&Society スポーツの力を街づくりに ▶▶

[個人情報保護方針](#)

[特定個人情報基本方針](#)

[個人情報の取り扱いについて](#)

[Cookie（クッキー）およびアクセスログについて](#)

[サイトのご利用上の注意](#)

© 2019 Mitsui Fudosan Co., Ltd.

トップコミットメント	ESGの考え方	活動報告の開示にあたって	価値づくりのあゆみ
環境 Environment	社会 Society	ガバナンス Governance	特集レポート
	SDGsの関わり	独立した第三者保証報告書	第三者コメント
			ESG情報一覧表



「スポーツの力」を活用した街づくり

スポーツには「する」「観る」「支える」などの活動を通じて、暮らす人々や働く人々、憩う人々の心身を健康にするだけでなく、新しいつながりを生み出し、コミュニティを活性化する力があります。「都市に豊かさと潤いを」をグループステートメントに掲げ、経年優化的な街づくりをめざす当社は、スポーツを魅力的な街をつくる上で重要な要素と捉え、「スポーツの力」を活用した街づくりを推進していきます。

BE THE CHANGE

さあ、街から世界を変えよう。

「BE THE CHANGE さあ、街から世界を変えよう。」というスローガンを掲げ、「発信する」「つなぐ」「受け入れる」というテーマのもと、自らが変化となり、街づくりを起点に、人や地域や社会にいい変化をつくりだし、変えていくことをめざしていきます。

三井不動産スポーツアカデミー for TOKYO 2020

講師に一流のアスリートを招いて、オリンピックとパラリンピックの競技紹介や、体験会を実施するスポーツ教室です。三井不動産が街づくりを進めるエリアの小中学校や「ららぽーと」、「三井アウトレットパーク」など全国の商業施設で開催しています。一流アスリートと直接触れ合う体験を通して、地域に住む子どもたちをはじめ、多くの人たちをつなぎ、街のコミュニティを活性化することで、それをレガシーとして未来に継承していくことをめざしています。



▶ クライミングアカデミー

日本橋シティドレッシング for TOKYO 2020

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催の1000日前となる2017年10月28日から11月29日まで、大会のエンブレムやアスリートの肖像で街を装飾するシティドレッシングを実施しました。「WE MAKE2020」をテーマにアスリートだけでなく、参加型の企画により観る人、支える人なども含めた「みんなで作る東京2020大会」を体感するイベントとして日本橋から東京2020大会を応援しました。



▶ 三井本館のドレッシング



▶ ドレッシングイメージ



東京2020ゴールド街づくりパートナー

三井不動産は、不動産開発における東京2020オリンピック・パラリンピックのゴールド街づくりパートナーです。

「ゴミの落ちていないキレイな街」の文化を レガシーとして後世に遺す競技会場の美化活動

11 住み続けられる まちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	17 パートナーシップで 目標を達成しよう

2017年8月18日・19日の両日、秩父宮ラグビー場で開催された「ジャパンラグビートップリーグ開幕戦」の4試合にて、環境保全活動の一環として、競技会場の美化活動「KEEP THE STADIUM CLEAN」を実施しました。これは、「ゴミの落ちていないキレイな街」の文化を競技会場で育み、街へと波及させながら、後世にレガシーとして遺すことをめざすプログラムです。選手や学生の方々にボランティアとして参加いただき、約19,000人の観客の皆さまに、観戦後のゴミ拾いを呼びかけながら2日間でゴミ袋13,500枚を配布しました。多くの観客の皆さまがゴミ袋を受け取り、活用してくださったことから、他の競技でも同様の美化活動を展開していく予定です。

ソフトレガシー

	日本の良さを東京を舞台に魅せる		スポーツ・健康
	地方の魅力を発信		障がい者スポーツサポート
	東北発次世代育成サポート		誰もが暮らしやすい社会づくり

競技会場での美化ボランティア活動の事例

① 会場集合



当日の活動についてオリエンテーション。

② 会場美化の呼びかけ開始



来場者にゴミ袋を配布し美化の協力を呼びかけ。出場選手にもお手伝いしていただくことも。

③ ゴミ袋配布終了

④ ビジョンで活動を告知

⑤ 試合後





予定配布枚数を渡し切って一旦活動が終了。集合写真を撮影。



ハーフタイムなどに会場内のビジョンを使い美化活動の協力を呼びかけ。



配布したゴミ袋を活用して積極的にゴミ拾いに協力くださり、観客席は非常にきれいになりました。

Voice



競技会場の美化からゴミの落ちていないキレイな街へ上げたい

2017年度は「ジャパンラグビートップリーグ開幕戦」に加え、全国8会場計18試合のほか、「日本女子バスケットボールWリーグ」「高円宮杯U-18サッカーリーグ」で競技会場の美化活動を実施しました。いずれも会場でゴミ袋を配布し、美化を呼びかけるボランティア活動ですが、たくさんの観客の皆さまが自席周りだけでなく広範囲でゴミ拾いをされている様子が見られました。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けてこうした活動が街の美化へと広がり、大会後も文化として定着していくことをめざしていきます。

三井不動産 企画調査部 長崎 智枝美

トップコミットメント	ESGの考え方	活動報告の開示にあたって	価値づくりのあゆみ
環境 Environment	社会 Society	ガバナンス Governance	特集レポート
	SDGsの関わり	独立した第三者保証報告書	第三者コメント
			ESG情報一覧表



北海道で“終わらない森”をつくる



三井不動産グループが北海道の31市町村で保有する森は、約5,000ha（東京ドーム約1,063個分※）に及びます。その6割強はトドマツなどの人工林で、計画的な植林と適切な管理・育成を行っています。また、その森の間伐材や主伐材を建築資材や什器などに使用することで、森の更新を図り、“終わらない森”をつくっています。

なお、残りの4割弱はミズナラなどの天然林で、こちらは最低限の管理にとどめ、自然のままに保全しています。
※東京ドーム約4.7haで計算。



使う (フローリング材の下地に)



使う (森について楽しく学ぶ教材に(&EARTH DAY))

終わらない森を軸とした持続可能な地域社会をつくる

三井不動産および保有林の育成・管理を行っている港工ステート(株)は、北海道下川町と、2017年7月に「終わらない森づくり」を基軸とした持続可能な地域社会創造に係る包括連携に関する協定を締結しました。

- ◆ 森林の持続可能な管理
 - ◆ 適正な森林資源を活用した持続可能な消費と生産
 - ◆ 森林の多面的機能による気候変動対策・エネルギー確保
- などを図ります。



▶ 北海道下川町との協定調印式



東京都の水源地の森を守る

東京水道～企業の森

東京都水道局では、将来にわたって多摩川上流の水源地を守るため「みんなでつくる水源地の森実施計画」を策定しています。また、都民や企業など、さまざまな方とともに森づくりを行うことで、水源地保全の重要性についての理解促進を図っています。

三井不動産は、この事業の主旨に賛同し、2017年6月に「東京水道～企業の森（ネーミングライツ）」の協定を締結し、東京都水道局と協働して、グループ社員による森林保全作業体験などを通じ、水源地の森の保全活動を行っています。



水源地の森の保全作業体験

2017～2018年に「三井不動産 & EARTH FOREST TOKYO」（山梨県甲州市）において、三井不動産の社員による森林保全作業体験を実施しました。

植林の準備作業として、2017年11月に地表に散乱した枝や刈払った雑木などを整理する「地ごしらえ」（参加者6人）を行いました。2018年6月には、社員11人が参加して、同地で植林を行いました。



▶ 「地ごしらえ」実施

東京都水道局職員と協働して、散乱した枝や倒木などを拾い集めました。



▶ 「地ごしらえ」作業完了



▶ 「植林」実施

Voice



水資源保全の重要性を改めて感じています

健康な森林には雨水の吸収・蓄えや洪水・土砂災害の防止、地球温暖化の緩和、生態系の保全などの機能があります。東京都水道局との協働を通じて森に足を運び、供給サイドの水に対する取り組みや使命感等に触れることで、水源涵養林の機能の大切さを再認識するとともに、改めて水を使用する者として、節水以外に自らが水資源を守るために何ができるのかを考えています。一人でも多くの社員とこの想いを共有できるように、今後も研修企画を進めていきます。

三井不動産 社会・環境推進室 館野みゆき

[個人情報保護方針](#)

[特定個人情報基本方針](#)

[個人情報の取り扱いについて](#)

[Cookie（クッキー）およびアクセスログについて](#)

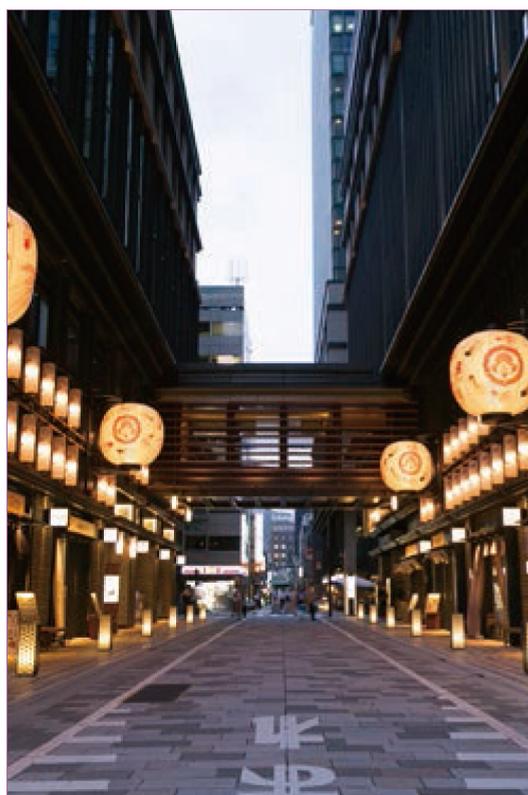
[サイトのご利用上の注意](#)

トップコミットメント	ESGの考え方	活動報告の開示にあたって	価値づくりのあゆみ
環境 Environment	社会 Society	ガバナンス Governance	特集レポート
SDGsの関わり		独立した第三者保証報告書	第三者コメント
ESG情報一覧表			



地域コミュニティと一体となり、
 江戸文化と日本橋界隈の魅力を発信する多彩なイベント

8 働きがいも 経済成長も	17 パートナリシップで 目標を達成しよう



三井不動産は、「名橋『日本橋』保存会」や地元団体、企業などを中心に設立された「ECO EDO 日本橋実行委員会」に参加し、日本橋地区の活性化を目的として開催されるイベントを支援しています。江戸時代の人々が大切にしていた共生の精神を今に伝えるとともに、日本橋ならではの新たなスタイルを創造し、その魅力を発信する多彩な催しは毎年継続して行われ、地域への集客や人々の交流、経済効果の波及に貢献しています。

2016年3月から4月にかけて行われた「日本橋桜フェスティバル」は、都心の広域エリアでシティブランディングのイベントを実施したことが評価され、JACE イベントアワード「最優秀経済大臣賞(日本イベント大賞)」を受賞しました。さらに、同年9月から10月にかけて行われた「日本橋熙代祭」で放映された「未来熙代勝覧」がJIAゴールデンキューブ賞視聴覚部門で優秀賞を受賞しました。江戸時代の絵巻物をモチーフに、未来の日本橋にあったらいいものを小学生が描いた映像作品です。



「未来熙代勝覧」
 JIAゴールデンキューブ賞受賞



「日本橋桜フェスティバル2016」
 JACE第3回イベントアワード受賞



▶ 「日本橋桜フェスティバル2017」

多数の桜の名所で知られる日本橋で、デジタル技術によるアートな花見体験や、美食の食べ歩き、宝探し施策などを楽しむ周遊型桜体験イベントです。

▶ 「ECO EDO 日本橋 2017
～五感で楽しむ、江戸の涼～」

金魚すくいや提灯、浴衣など江戸時代に日本橋で育まれた“涼”をとる生活の知恵や工夫を楽しむイベント。2017年で10回目を迎えました。

▶ 「日本橋熙代祭」

老舗や地元企業が一体となり、日本橋の伝統文化や通りの魅力を楽しむ秋祭り。2回目となる2017年は10月20日から11月7日まで開催されました。

「日本一安全な街、日本橋」の実現をめざし、 地域の皆さま参加の大規模な体感型防災訓練を実施

一般社団法人日本橋室町エリアマネジメントと三井不動産は、2017年3月7日に体験型防災訓練を実施しました。日本橋は、事業者・就業者・在住者・来街者など、あらゆる立場の方が混在しているエリアのため、施設や事業者ごとの訓練だけでは有事の際に十分な対応が難しいと想定されます。そのため今回の防災訓練は、地元の小学生をはじめ「COREDO 室町」や「日本橋三井タワー」の就業者、地域住民の皆さま約1,200人が参加し、日本橋の街をあげて開催されました。防災意識の醸成をはかるため、初の試みとなる大規模地震のVR体験や体感型防災アトラクションを導入。「日本一安全な街、日本橋」の実現に向けて地域防災力の向上に大きく貢献しました。



▶ 大規模地震発生時のデータを元にしたシミュレーター「地震ザブトン」

実際の大地震発生時のデータを元にした激しい揺れをリアルに体験して、備えの重要性を学ぶ小型のシミュレーターです。



▶ 救助・救護・応急手当・搬送訓練

ボールや木材等を使った救急方法や、ブルーシートで負傷者を搬送する方法など、実践的な知識や技能を身につける訓練を実施しました。



▶ 老舗店舗「にんべん」による炊き出し

「COREDO室町」に出店している1699年に創業したかつお節の老舗「にんべん」による炊き出しが行われ、約200食のあおさ汁がふるまわれました。



▶ 日本橋室町エリア防災マップの作成

街を歩いて避難所や消火栓の位置などを確認し、災害時にとるべき行動や避難する際のポイントを地図に書きこみ、防災マップを作成しました。

Voice



イベントをきっかけにたくさんの人に日本橋の魅力を知ってほしい

日本橋の街は、実際に来て、路地を歩き、店に足を運び、人と触れ合ってはじめて本当の良さを実感できる場所だと思っています。一回その良さを実感できれば、行きたい場所・会いたい人が必ずできる街だとも思っていますので、街に足を運んでいただくきっかけをつくるのがとても重要だと考えています。「日本橋桜フェスティバル」では幅広い層の方に来街のきっかけを生み出すイベントとして企画をしています。イベントを通して日本橋の持つ魅力に触れていただければと思います。

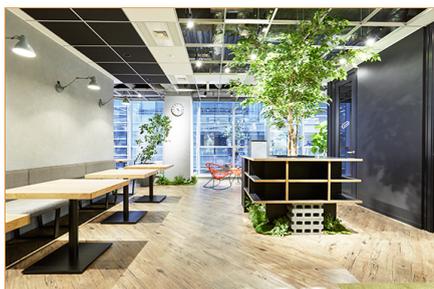
三井不動産 日本橋街づくり推進部 坂本 彩

& People

多様な人材の多様な働き方で活性化する街を、未来へ

すべてのワーカーが能力と個性を発揮し、街づくりに貢献できる新しい働き方

働き方の未来を開く「WORKSTYLINGプロジェクト」が 2017年度グッドデザイン賞を受賞



三井不動産が新しい働き方の実現に貢献するため立ち上げた「WORKSTYLINGプロジェクト／多拠点型シェアオフィスによる働き方変革」が、2017年度のグッドデザイン賞を受賞しました。高齢社会や労働人口減少が進む中で、企業には生産性の向上や多様な人材の活用が求められています。また、長時間労働の是正も課題であるため、これまで以上に効率のかつくりエイティブな仕事を実行していく時代に入ったといえます。

そうした社会的変化に応じて、ワークスペースのさまざまな課題に新しいソリューションを提供する「ワークスタイリング」は、大企業の社員にも多様な働き方を実現するサービスとして高く評価され、今回の受賞につながりました。

WORK STYLING

働き方を自由に変えられる空間

「ワークスタイリング」は、さまざまな企業の社員が場所や時間に縛られずに利用できるTV会議システムをはじめとする最新機器と高度なセキュリティを備えた法人向け多拠点型シェアオフィスです。2018年6月現在、全国の主要都市に32の拠点を展開し、長距離通勤からの解放や子育て・介護と仕事の両立など、社員が「新しい働き方」を自由に変えられる空間を提供しています。

また、利用企業の声を受け、2018年度は客数や期間をフレキシブルに変えられる「ワークスタイリング FLEX」、契約法人限定の宿泊機能付きのワークプレイス「ワークスタイリング



▶ 「ワークスタイリング FLEX」

STAY」のサービスを開始しており、働く場をさらに進化させています。



▶「ワークスタイリング STAY」

テレワークデイズ企画の実施に

2017年、2018年と継続して「ワークスタイリング」は、テレワークの普及を後押しする「テレワークデイズ」の趣旨に賛同し、「ワークスタイリング」のご利用者様向けに一部施設の開放を実施しました。テレワークの普及と、東京2020オリンピック・パラリンピックを働き方の面でサポートするために行ったもので、今後もサービスの拡充を図っていきます。

お客さま志向につながる従業員の「笑顔の現場」。
まず、自分たちが楽しく働くこと



三井不動産グループは、ホテルや商業施設で接客・サービスにあたる社員および大切なパートナーである従業員の皆さまに、笑顔で楽しく働いてもらうことが、お客さまへのサービス向上につながると思っています。制度や施設を含む、より良い職場環境の整備に努めているのは、ES（従業員満足）を向上させることが、CS（お客さま満足）の向上に通じているからです。

お客さまの満足につながるES向上の推進

全ホテルを対象とした全力対応コンテストの実施や「MGH AWARD」をはじめとする各種奨励制度など、お客さまに満足していただくためのES向上を図り、大きな成果を上げています。



▶ 全力対応コンテスト（三井不動産ホテルマネジメント）



ザ セレスティンホテルズ・三井ガーデンホテルズで働く人々の行動指針をまとめた「CREDO」（三井不動産ホテルマネジメント）

ここで働きたいという気持ちにさせる職場環境づくり



▶「アーバンドックららぽーと豊洲」休憩室

「アーバンドック ららぽーと豊洲」ほかの商業施設において、従業員が快適に過ごせるように、カフェのような癒しの空間をコンセプトにした従業員休憩室のリニューアルを進めています。今後も、従業員のモチベーションを高める職場環境づくりに注力していきます。



▶「ららぽーと新三郷」休憩室



▶「ららぽーと新三郷」女性従業員用パウダールーム

Voice



きめ細かいサービスが多様な人材活用と働き方改革につながる

「WORKSTYLINGプロジェクト」はセキュリティ基準や勤怠管理への対応など、大企業に生じやすい特殊な条件にきめ細かく対応したことが、2017年度グッドデザイン賞の受賞につながりました。また子育てや家族の介護をしている社員など、物理的移動の難しい人材を活用する上で効果が期待できることも評価されました。今回の受賞を励みに多様な人材の活用、多様な働き方につながるサービスの充実に努めていきます。

三井不動産 ビルディング本部ワークスタイル推進部 高木 諒平

◀ &Nihonbashi 「日本橋」

[個人情報保護方針](#)

[特定個人情報基本方針](#)

[個人情報の取り扱いについて](#)

[Cookie（クッキー）およびアクセスログについて](#)

[サイトのご利用上の注意](#)

© 2019 Mitsui Fudosan Co., Ltd.